

## 海南市 第2期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

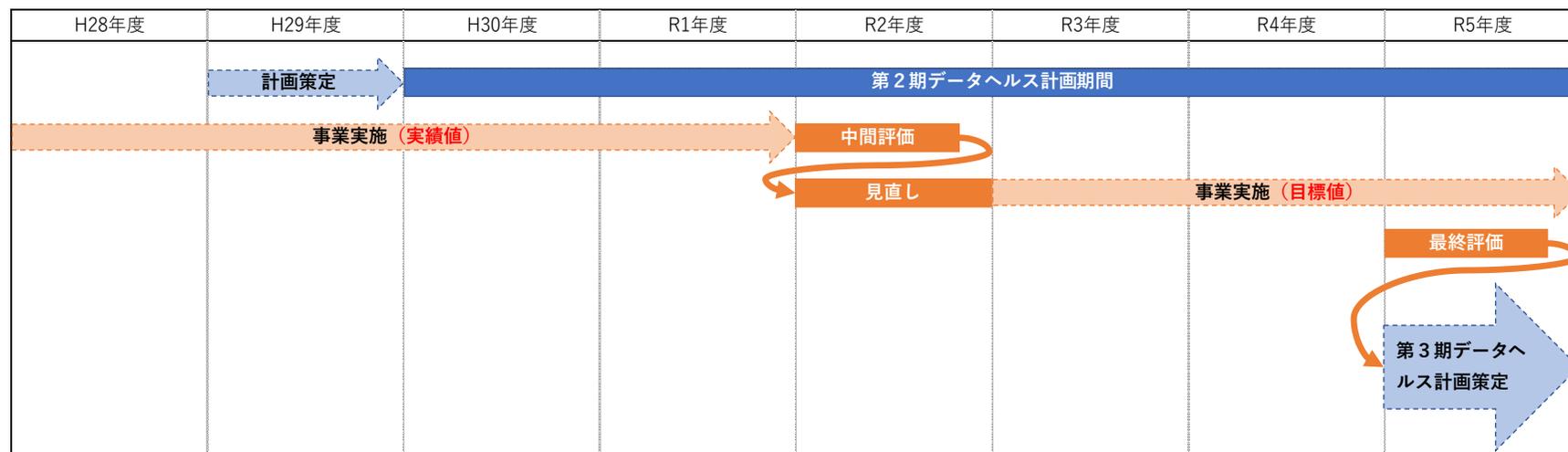
### － 中間評価 －

#### 1 中間評価の目的

平成30年3月に策定した第2期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）（平成30年度から令和5年度）に基づき、被保険者の健康保持増進に取り組むため、保健事業を実施してきました。計画の中間時点において、事業の進捗状況を確認するとともに目標の達成状況を評価し、計画期間の後半に向け、事業の方向性と体制や実施方法を検討することを目的に中間評価を実施しました。

なお、計画の最終年度において、計画全体の目的・目標の達成状況を評価し、次期計画策定に向けて保健事業の評価と見直しを実施します。

《第2期データヘルス計画の評価・見直しのスケジュール》



## 2 評価方法

### (1) 計画全体の目標と実績値の推移

計画全体の目的・目標を確認したうえで、計画に記載の評価指標（目標）に基づき実績値を収集し、計画策定時の現状値（平成 28 年度）からこれまでの実績値の推移をみて、以下の 4 段階で評価しました。

a：改善している    b：変わらない    c：悪化している  
d：評価できない ※長期目標のため実績値を毎年度収集できず最終年度のみで評価する場合など

### (2) 個別保健事業の目標への到達状況

計画に記載の評価指標に基づき実績値を収集し、目標※への到達状況を確認しました。計画策定時の現状値（平成 28 年度）からこれまでの実績値の推移をみて、最終目標に到達できそうかどうか判断し、以下の 4 段階で評価しました。

※計画では令和 2 年度を中間評価の目標値として設定していますが、令和 2 年度中に中間評価を実施するため令和元年度の目標値で評価しました。

なお、個別保健事業は毎年度目標値を設定し実施しています。

a：目標に到達している  
b：目標に到達していないが、最終目標は達成できそう  
c：目標に到達しておらず、最終目標も達成できそうにない（平成 28 年度と比べ改善している）  
d：平成 28 年度と比べ悪化している

### (3) 個別保健事業の評価と今後の方向性

事業毎に実施状況を整理し、課題と改善点を明らかにしたうえで、計画期間の後半に向け事業の継続、拡充、縮小のいずれかの方向性と、実施体制や方法の工夫や変更を検討しました。これらを踏まえ、最終目標値についても現状維持、上方修正、下方修正のいずれかを検討しました。

(4) 計画全体の今後の方向性

個別保健事業の評価結果と合わせ、計画全体の目標達成のために強化すべき取り組み等を検討しました。なお、制度の改正等の動向を踏まえるとともに、国保部局、介護部局、都道府県、地域の医師会、国保連合会の支援・評価委員会等と連携を図りながら中間評価・見直しを実施しました。

3 評価結果

(1) 計画全体の目標と実績値の推移

≪データヘルス計画の目的≫

被保険者が自主的な健康増進及び疾病予防に取り組み、健康の保持増進を図る。

計画全体の目標		実績値				評価
評価指標	目標	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	
高血圧 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人)	減少	276.6	278.4	276.6	274.3	a
糖尿病 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人)	減少	121.6	123.5	125.0	130.2	c
糖尿病性腎症 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人)	減少	7.7	7.2	7.2	7.4	a
人工透析 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人)	減少	1.8	1.6	1.7	1.5	a
健診結果において HbA1c の有所見者割合 (%)	減少	57.0	55.9	58.9	68.2	c
健診結果において LDL コレステロールの有所見者割合 (%)	減少	53.5	54.6	55.5	53.5	b
要介護認定者 (1号のみ) のうち心臓病の有病割合 (%)	減少	67.7	67.3	67.8	67.0	a
要介護認定者 (1号のみ) のうち筋骨格系疾患の有病割合 (%)	減少	59.9	59.3	59.3	59.9	b
健診受診者のうち運動習慣のある者の割合 (%)	増加	59.4	60.2	61.8.	61.8	a
評価 (4段階) a: 改善している, b: 変わらない, c: 悪化している, d: 評価できない						

・被保険者 1,000 人当たりの患者数: KDB「様式 3-1 生活習慣病全体のレセプト分析 各年度 3 月分 (5 月帳票)」

- ・ HbA1c、LDL コレステロールの有所見者割合：KDB「様式 5-2 健診有所見者状況 各年度帳票」
- ・ 要介護認定者の心臓病、筋骨格系疾患の有病割合：KDB「要介護（支援）者有病状況 各年度（累計）帳票」
- ・ 健診受診者のうち運動習慣のある者の割合：KDB「質問票調査の状況」

(2) 個別保健事業の目標への到達状況

事業名	評価指標	目標値		実績値				評価
		(中間評価) R1 年度	(最終評価) R5 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	
特定健診未受診者対策事業 健診受診理由把握事業	特定健診受診率 (%)	41.5	45.0	39.4	40.0	43.4	41.1	b
特定保健指導未利用者利用勧奨事業	特定保健指導実施率 (%)	26.1	30.0	23.4	24.2	20.1	28.6	b
健診結果医療受診勧奨事業	受診勧奨の結果、医療につながった者の割合 (%)	66.225	70.0	63.9	—	51.4	55.3	c
糖尿病重症化予防のための医療受診勧奨事業	受診勧奨の結果、医療につながった者の割合 (%)	68.4	75.0	H29 年度新規事業	—	55.50	69.26	b
地域健康づくり事業 一般介護予防事業	食事に気をつけたり、体を動かすなどの健康づくりに取り組んでいると回答した者の割合 (%)	72.2	75.0	71.3	70.9	68.8	73.1	b
評価（4段階） a：目標に到達している， b：目標に到達していないが、最終目標は達成できそう c：目標に到達しておらず、最終目標も達成できそうにない（平成 28 年度と比べ改善している）， d：平成 28 年度と比べ悪化している								

- ・ 特定健診受診率・特定保健指導実施率：法定報告（速報値） 各年度
- ・ 受診勧奨の結果、医療につながった者の割合：受診勧奨実績（海南市健康課所有） 各年度

・食事に気をつけたり、体を動かすなどの健康づくりに取り組んでいると回答した者の割合：第2次海南市総合計画

(3) 個別保健事業の評価と今後の方向性

事業名	上手くいった点、工夫した点	計画通り進まなかった点、理由	今後の方向性	見直し後の最終目標値 (R5年度)
特定健診未受診者対策事業 健診受診理由把握事業	未受診者や健診未受診で通院している者の把握は事業に委託することによりもれなく把握できた。	未受診者の把握の際、元データから住所等が変更されている場合に反映できていなかったため元住所に送付してしまう事例があった。 情報提供用アンケートの返送率が見込み数より低かったため情報提供による受診率向上効果があまりなかった。 独自の様式を使用している医療機関では受診理由が把握できなかった。	受診勧奨の際の住所等を更新できる仕組みづくりに取り組む。 健診未受診で通院している者へのアプローチ方法として、情報提供用アンケートの返送率を上げる取り組みや医療機関から情報提供してもらうまたは受診勧奨してもらうなど取り組みを行っていく。 独自の様式に受診理由を載せてもらうよう話し合う。	特定健診受診率 45.0%
特定保健指導未利用者利用勧奨事業	他の事業と役割を明確に分担することで勧奨する保健師を確保でき、利用勧奨率・実施率向上に寄与した。	ダブルチェックをすることで対象者をほぼ把握できているが、数件対象外が含まれていた。	実施率を上げるために電話勧奨で今後さらに架電率を上げる。	特定保健指導実施率 30.0%
健診結果医療受診勧奨事業 糖尿病重症化予防のための医療受診勧奨事業	糖尿病の受診勧奨にはかかりつけ医への手紙を同封しているため勧奨後の受療が把握しやすかった。	糖尿病以外の勧奨後の受療率・電話での再勧奨率が低かった。	血圧・脂質にもかかりつけ医への手紙を同封することで受療率向上に努める。 電話勧奨後の受療の把握方法を検討する。	受診の結果、医療につながった者の割合 70.0% 75.0% (糖尿病)
地域健康づくり事業 一般介護予防事業	他の事業と役割分担することで保健師を確保することができ	依頼があった団体にはセミナーを開催したが依頼がなければ開	サークルの育成・支援は継続するとともに、保健師間で健康セミナーのあり	食事に気をつけたり、体を動かすなどの健康づく

	た。	催していない。	方について話し合い開催方法を検討する。	りに取り組んでいると回答した者の割合 75.0%
--	----	---------	---------------------	-----------------------------

#### 4 計画全体の今後の方向性

業者のノウハウを活用しながら健診・医療受診の必要性を効率的に伝える取り組みを継続するとともに、住民自身が自分の健康状態により関心を持てるように勧奨方法・勧奨資材を工夫し、今後も受診勧奨に取り組む。

海南市民の健康の保持・増進のために医療機関との連携を強化する。

中間評価後の最終目標値 (R5年度)
高血圧 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人) : 273.0
糖尿病 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人) : 120.0
糖尿病性腎症 (再掲) 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人) : 7.0
人工透析 被保険者 1,000 人当たりの患者数 (人) : 1.4
健診結果において HbA1c の有所見者割合 (%) : 53.0
健診結果において LDL コレステロールの有所見者割合 (%) : 52.0
要介護認定者 (1号のみ)

	のうち心臓病の有病状況の割合 (%) : 66.0 要介護認定者 (1号のみ)のうち筋骨格系疾患の有病状況の割合 (%) : 58.5 健診受診者のうち運動習慣のある者の割合 (%) : 63.0
--	--